

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	文化産業観光部	文化振興課
施設名称	(7)	東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 奏楽堂は、昭和58年に東京藝術大学より譲り受けた日本最初の木造洋式音楽ホールである。国の重要文化財でもあるため、奏楽堂を保存継承し、生きた文化財として活用することにより、芸術文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区上野公園8-43 [規模] 延べ床面積 1,851.39㎡ 木造地上2階地下1階（一部RC）／資料展示室、楽屋控え室、楽屋、練習室、倉庫、パイプオルガン機械室・倉庫、ステージ、ホール、ホワイエ、鑑賞室、応接室、資料整理室、資料保管室、事務室、発電機室など
(3)	[委託事業] 休館中における施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。 [自主事業] 日本歌曲コンクール、入賞記念コンサート、木曜コンサート、特別事業「バロックレクチャーコンサート～チェンバロの響きを愉しむ～」、チェンバロ公開講座
(4)	[利用者] 開館中全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 保存修復工事のため、平成25年4月1日より休館中である。 （以下、休館前について示す 開館日：日・火・木曜日（水・金・土曜日はホール等の使用がない場合）・休館日（月曜日／年末年始／特別整理期間等）・開館時間：午前9時30分～午後4時30分）
(6)	[人員体制] 2名（内訳） 派遣職員（1） 専門スタッフ（1）

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	7,997,000	7,680,701	3,967,000	3,489,315
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（ ）	0	0	0	0
	計	7,997,000	7,680,701	3,967,000	3,489,315
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	1,117,000	1,225,390	0	0
	維持管理費（委託料・賃借料）	6,175,000	6,010,189	3,286,000	3,066,340
	修繕費	100,000	4,500	0	0
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	605,000	440,622	681,000	422,975
	計	7,997,000	7,680,701	3,967,000	3,489,315
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	125	-	-	-

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
入館者数	人	8,830	-	-	-

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

改修に伴い休館中ではあるが、関係団体とのネットワーク維持の必要性を考慮し、継続的に自主事業を実施した。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の区との必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有に努めた。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書に記載の歌曲コンクール等自主事業を実施し、開催情報についてはホームページやチラシの作成を行い分かりやすい情報提供を続けた。東京藝術大学等の関係団体とは随時連絡を取り適切に調整をしている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	保存活用工事のため休館中。 ピアノ等の楽器や寄贈資料等の備品についても適切な維持管理に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	アンケートを実施し、その後の運営に反映させている。また苦情やご意見は、定例ミーティング等で職員への周知を行い、情報共有に努めている。前年に引き続き、他のホールでコンクールやコンサートを実施し、入場者数は前年実績を上回った。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	経費節減に努め、適正な予算の執行がなされている。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
3 点	自主事業「日本歌曲コンクール」では、インターネットでの応募要項の取得やフェイスブックでの周知を開始したため、若い年齢層の応募者が増えた。

7. 総合評価 極めて良好 (110~101) ・ 良好(100~91) ・ 適正(90~70) ・ 改善指示(69以下)	
極めて良好 (103 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>休館中においても、職員による適切な備品管理や自主事業の継続を行った。分かりやすいチラシ作成やインターネットによる応募要領取得により、コンサート等の入場者は増加し、コンクールの若年齢層の応募者も増えた。リニューアルオープンに向けて着実に準備を進めている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p>